

地質学を通して未来を創る

～地質技術者の育成と
地域社会への貢献を目指して～

創研ジオラボ始動

～秋田の大地から、未来へ挑む～

堆積環境調査
(コアに含まれる化石：ヤマトシジミ)

偏光顕微鏡観察
(岩石薄片：斜長石の累帯構造)

UAVによる堆積構造調査(泊海岸：枕状溶岩と偽枕状溶岩)

火山岩地域のボーリング調査
(岩盤ボーリング)

地表地質踏査(堆積岩)

地表地質踏査(火山岩)

UAV赤外線カメラによるモルタル吹付空洞調査

創研コンサルタントは秋田に根ざし、地域の安心・安全を守り抜く地域密着型コンサルタントです。創研ジオラボは、深刻な人口減少と技術者不足に直面する秋田を起点に、地質技術者不足という業界の課題を解決し、地域インフラの安全性と持続可能性を支えるための重要な役割を果たします。技術者の育成、品質の向上、研究活動を含む地域社会への貢献を通じて、建設コンサルタント業界の発展に寄与してまいります。

業務概要

【橋梁】

【道路】

【河川】

【地質調査・各種試験・解析】

【インフラ点検・UAV測量調査】

【都市計画・区画整理計画】



この道に、この川に・・・街を耕す人間力

株式会社 創研コンサルタント

〒010-0951 秋田市山王一丁目9番22号 TEL 018-863-7121



創研ジオラボ

株式会社創研コンサルタント 能代営業所内
〒016-0877 能代市仙遊長根23番6
創研ジオラボ TEL:0185-74-9035 FAX:0185-74-9034
E-mail: info-geolab@sohken-c.co.jp

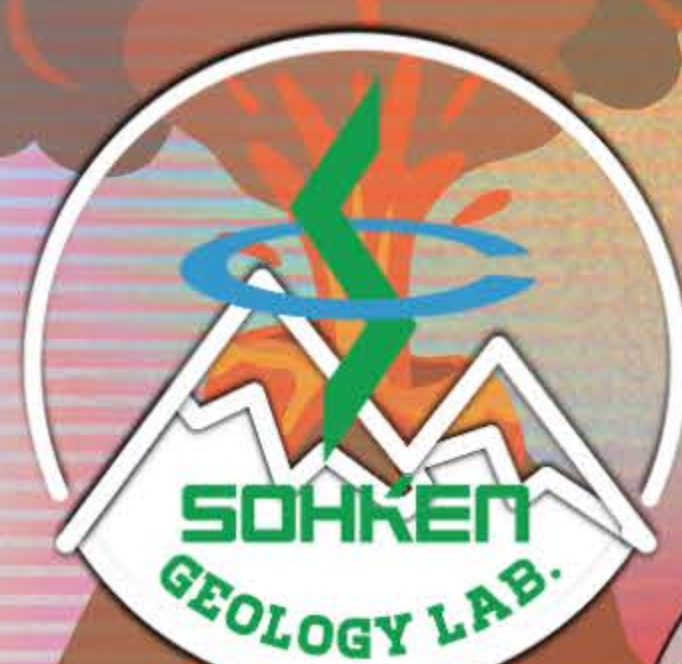


GEOLAB SITE

【秋田発・新たな挑戦】

地質を学び、未来を創る ～ 創研ジオラボ ～

地質技術者の育成と地域社会への貢献を目指して



創研ジオラボ

地質の力で、地域と社会を支える

近年、地質技術者不足は深刻な社会問題です。相次ぐ自然災害、インフラ老朽化への対応、そして持続可能な社会を築き上げるには、高度な地質技術が不可欠となっています。

この課題を乗り越えるため、特に厳しい技術者不足に直面している地元・秋田の地に、創研ジオラボ (Sohken Geology Lab.) を設立しました。当ラボは、次世代の地質技術者を育成し、地域の安心・安全に実質的に貢献するための拠点です。

創研ジオラボの取り組み

創研ジオラボでは、以下の活動を通じて、地質技術の発展に貢献していきます。

1. 技術者育成: 実践的な研修プログラムを通じて、次世代の地質技術者を育成します。
2. 広報活動: 地質技術の重要性を広く社会に発信し、理解を深めます。
3. 教育活動: 地域社会や教育機関と連携し、地質に関する知識を普及します。
4. 研究活動: 大学との共同研究を実施して、地質学分野の活性化を含め業界全体の発展に寄与します。
5. AI活用の推進: AIやデジタルツールを活用し、地質調査の精度向上と効率化を進めます。
6. 情報発信: 地質に関する情報を収集・分析し、広く公開します。



下北半島むつ市での北海道教育大学との
合同地質調査風景 (2025.10)

現在進行中の主な共同研究

1. 東北地方の火成岩類に関して
 - ・岩手県奥州市、瑞山カルデラの地質学的・岩石学的研究
 - ・秋田県八峰町、泊海岸の上部中新統～鮮新統「素波里安山岩」にみられる枕状溶岩と偽枕状溶岩の地質学的産状と岩石学的成因
 - ・秋田駒ヶ岳の片倉沢溶岩に関する地質学的・岩石学的研究
 - ・岩手県北上市、中部中新統「稲瀬火山岩類」のバッチ溶融モデル
 - ・秋田県八峰町、藤倉川層の地質層序と地球化学的特徴
 - ・秋田県男鹿半島に分布する花崗岩の岩石学的研究
2. 沖積層に関して
 - ・沖積粘性土層における強度のバラツキの原因について
3. 地学教育に関して
 - ・中等教育における「結晶分化作用」の問題点について

● 主な共同研究先、協力機関
北海道教育大学
弘前大学
秋田大学
山形大学 etc

● スタッフの主な専門分野
花崗岩岩石学
火山地質学・火山岩岩石学
層序学、微古生物学
新第三紀岩石学、重金属化学分析
土質工学・斜面工学・物理工学
～資格等～
博士(資源学・理学・工学)
技術士(応用理学・建設)



秋田県男鹿半島かぶき岩にみられる枕状溶岩 (2019.5)



秋田県八峰町椿海岸の「素波里安山岩」
にみられる柱状節理 (2025.7)



秋田県八峰町中浜海岸の「素波里安山岩」
からなる雄島の空撮写真
(秋田大学名誉教授の林信太郎氏提供)

これらの活動を通じて、創研ジオラボは、地域社会の
安全・安心に貢献し、持続可能な社会の実現を目指します。



創研ジオラボ

株式会社創研コンサルタント 能代営業所内
〒016-0877 能代市仙遊長根23番6
創研ジオラボ TEL:0185-74-9035 FAX:0185-74-9034
E-mail: info-geolab@sohken-c.co.jp



GEOLAB SITE

～ 創研ジオラボのミッション ～

地質学で未来を創る： 技術者育成と産学連携による社会インフラの持続性確保

結論：創研ジオラボは、高度な地質技術と産学連携による技術者育成を統合し、社会インフラの持続可能性と安全性を確保する戦略的価値を創出します。

背景：地質技術者不足とインフラ老朽化という深刻な課題に対し、創研ジオラボは地質学を基盤技術と定義し、AI活用、次世代育成、産学連携を通じて解決を図る拠点です。

地元秋田は全国の中でも特に人口減少・技術者不足が厳しく、インフラ防衛を担う地質技術者の確保は死活問題となっています。

LAYER 1: 社会的インパクト (安全・持続可能なインフラの実現)

価値：安心・安全

① 社会インフラの安全性向上



橋梁・道路、河川等の地質調査・解析により、災害に強い強靱な国土づくりを支援。

② 建設コンサルタント業界の持続性確保



若手技術者の育成と情報発信により、人材不足を解消し、業界の発展を牽引。

③ 地域社会への知見還元



地学教育の支援や博物館への出展等を通じ、防災意識の向上と地域貢献を両立。

LAYER 2: 価値創造の基盤 (3つの重点活動)

価値：技術的優位性

④ 実践的な技術者育成と最新技術の融合



AI・デジタルツールの活用により、高精度かつ効率的な調査体制の構築を目指す。

⑤ 多角的な研究プロジェクトの推進



東北地方の火山岩類や沖積層の研究など地域特性に即した高度な地質学的知見を蓄積。

⑥ 強固な産学官連携ネットワーク



北海道教育大、秋田大、山形大等との共同研究を通じ、業界全体の技術水準を底上げ。

LAYER 3: 根幹 (研究・育成)

価値：未来の基盤

秋田から未来へ挑む



技術で地域インフラを支える

未来を創る地質学：研究と人材育成の統合拠点

社会の安全・安心に貢献するための基盤技術として、地質学の深化と次世代への継承を推進。

総括：研究・育成の根幹から始まり、重点活動を通じて技術的価値を創造し、最終的に社会インフラの安全性と持続可能性という社会的インパクトへと結実する、一貫した戦略的アプローチ。

～ 創研ジオラボの最近の活動 ～



UAVによる地質構造調査(秋田県男鹿半島：鬼の俵ころがし)



弘前大学との合同地質調査（秋田県男鹿半島）



北海道教育大学との合同地質調査
(青森県夏泊半島)

